

綱 領

- われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- われわれは、常に暴力と独裁を排し自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
- われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

# 日赤新労

2023年  
3月22日  
発行  
第259号

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(日赤新労)  
東京都港区芝大門2-7-9 鍋島ビル2F  
TEL (03) 3433-3028  
FAX (03) 3432-4560  
Eメール shinro@shinro.org  
ホームページ http://www.shinro.org/  
発行責任者 粕谷 幸司

## 第62回 定期全国大会開催

### 「統一と団結の力」を発揮、 活力あふれる魅力ある組織へ

二月十九日から二十一日の三日間、東京都墨田区において、第六十二回定期全国大会が開催された。KFCホール&ルームス」を会場として、参集並びにWebによるハイブリッド会議形式で、全国加盟単より代議員及びオブザーバーを含めた九十三名参加のもと、二〇二二年度の活動報告と、二〇二三年度運動方針案や要求書案、予算案等について慎重な審議が行われた。新執行部体制のもと、本年度も要求獲得に向けて力強く前進していくことを確認した。

初日の十九日は、佐久間 伸氏(福島血七)。審議に中央副執行委員長の開会の先立ち佐藤中央執行委員長ことばの後、出席者全員に挨拶に立ち、次のようによる日赤新労労働歌斉唱が述べた。

「まず、第六十二回定期大会開催にあたり最高長団が選出された。議長には瀬戸山和希氏(秦野日赤)、副議長に野村勇介氏(名)百赤)、書記に篠原 八波も少し

三月から本社本部間で春闘が始まりますが、二〇二二年度の賃上げは物価上昇率に届いておらず、二〇二三年度物価上昇は続くものと考えられ、厳しい交渉が予想されます。

三月から本社本部間で春闘が始まりますが、二〇二二年度の賃上げは物価上昇率に届いておらず、二〇二三年度物価上昇は続くものと考えられ、厳しい交渉が予想されます。



収支でマイナス八十三億円の赤字、昨年から三百億円の改善しているものの依然厳しい状況となった。黒字赤字施設の数は黒字が三十八施設、赤字が五十四施設であり昨年度から赤字施設の減少の改善がみられるが、これには補助金や退職給付会計などの特殊要因があり、皆様のご理解をお願いしたいと思っております。

さて、二〇二二年度の賃金交渉に関しては、要求額三・〇％(一万六千六百円)に届かないものの三年ぶりのプラス改定となり職員の基準内給与は平均で〇・三七％(一人当たり千四百三十一円)引き上げとなり、定期昇給分込みは、平均で一・六八％、一人当たり六千四百一十九円改定されました。実施九二改定されました。実施九二改定されました。

より大きく減額したことに限となるよう努力はするが、開催地によっては千円程度の値上げ額で設定させていたが、旨の説明がなされ承認された。今西中央会計監査からは適正且つ正確に処理されている旨の報告がなされ承認された。単組活動報告においては、各単組代表者から配布した資料をもとに補足説明が付け加えられた。

大会最終日は、議長団の書記に篠原伸氏(福島血七)に代わり金子正志氏(山形血七)が選出された。大津日赤より提出された審議事項、期末手当の加算措置の撤廃措置における本社との交渉経緯や、今後の単組間交渉の方法について、本部より回答・提案がなされた。

本部提案事項にて承認された。

一、二〇二三年度運動方針案について  
二、要求書案について  
三、二〇二三年度運動方針案について  
四、会計監査報告  
五、単組活動報告

一、各部報告  
二、一般経過報告  
三、二〇二三年度計収支決算報告  
四、二〇二三年度期末手当(基本額)について

【本社要求額】  
四・四か月十一律六万円  
七、大津日赤より提出された審議事項について  
大津日赤よりその他の審議事項として提出された、期末手当の加算措置撤廃の提案について質疑応答をおこなった。本部は本社に対して加算措置撤廃の理由をたずねた二〇一九年度第十一回団体交渉の交渉議事録を用いて、本社からの不明瞭な回答内容を伝え、今後さらなる明確な回答を求めて交渉していくこと、その回答を得てから今後の単組間交渉の手法を考えていくこととした。

八、その他  
〇HPPの新しいパスワード  
〇第六十三回定期全国大会について  
・会場候補・関東近郊(横浜市)で協議中  
〇二〇二三年度会議予定の報告



第八波も少し収まりの傾向が見えてきたが、コロナ禍はまだ続いておりまして、日本赤十字社令和四年度の決算報告は、血液事業特別会計については、令和三年度より二十九億円の減少の百十三億円の黒字決算となっております。しかし、凍結していた資本的支出として血液センターの土地購入や施設整備等の支出に百十億八千万円等が動き出し、四億八千万円等が動き出し、今後の血液事業の情勢も読み解いていかなく変化も予想されます。本部 医療施設の決算は、医療

協賛姿勢が必要と考えます。我々の連合体は、引き続き諸先輩方々が築き上げた「労使協調・良識ある組合活動」の基本路線を受け継ぎ、常に時代の変化を見据えながら問題の確に对应していかねばなりません。特に現状の世界情勢・物価情勢、さらに先を見ると二〇二五年間問題が控えており、一層の組織活性化を図り、諸要求を運動に反映させるために、「統一と団結の力」を最大

限発揮し、組織の拡大と組合運動の強化を共通の認識とし更なる躍進を続けていく決意のもと、いっそうの活力あふれる魅力ある組織を築き上げていかなければならないと考えています。そのためにも組合員皆様の更なるお力をお借りする時が早期にあるものと思っております。組合活動への協力のもと、よろしくお願いたします。本年も日本赤十字新労働組合連合会に対する一層のご支援をお願い致します。本大会が有意義で実りある会になるとともに皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。」

報告事項に入り、各部報告として組織・教宣・調査の各部長より一年間の活動報告が行われた。一般経過報告は、梶谷中央書記長から資料に沿っておこなわれた。

第八十二回 定期全国大会 大会宣言文

日本赤十字新労働組合連合会は、コロナ禍という厳しい状況を耐え忍び第六十二回定期全国大会を相模原市にある西国技館のあの中核をなす西国技館のあ

〇勤務評定制度の完全実施  
〇勤務評定制度の完全実施  
〇勤務評定制度の完全実施

FC Hall & Room  
私たちは二〇二三年度運動方針として、  
〇実質賃金の獲得と豊かでのゆとりある生活の実現  
〇労働時間短縮と完全週休二日制の全施設実施  
〇教宣活動の強化と組織の団結及び活性化  
〇福利厚生充実と活力ある職場環境の実現

〇恒常的な事業の継続と永続的な雇用の維持・確保  
以上の七項目をスローガンに掲げ、年々厳しさを増す労働環境のなか、日赤新労の理念のもと、力強く前進することを誓い、大会宣言とします。

愛知県赤十字血液センター職員組合 杉浦 良樹



